

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

フレッシュマン・オカザキのインド通信

インド大混乱！！

お世話になっております！

今月の特集は今インドを大混乱に陥れている高額紙幣の廃止について、現地で話を聞くことが出来たので、実際の影響など詳しく掘り下げてお伝えいたします！

ニュースなどでご存知の方も多いと思いますが、11月8日午後8時ナレンドラ・モディ首相はテレビ演説で、**現行の高額紙幣 1000 ルピー札(約 1600 円)と 500 ルピー札を廃止**し、新紙幣を発行すると発表し、その施行を4時間後の11月9日午前0時からとしました。つい先ほどまで使えていた紙幣が突然ただの紙切れとなってしまったのです。。

今回、突然こうした決定がなされた理由としては、**(1)パキスタンに本拠を持ち、インド国内で活動するテロ組織が高額紙幣の偽札を使っていること、(2)資産隠しによる脱税や汚職に使われるブラックマネーを一掃したいこと、**という2点が

挙げられています。



廃止される1000ルピー札と500ルピー札



今までの最高額紙幣は 1000 ルピー札でしたが、今回新たに 2000 ルピー札が発行され既に流通されています。しかし 11 月 30 日現在、1000 ルピー札と 500 ルピー札は未だに流通するほどの量が発行されていないようです。↑新発行の 2000 ルピー札です。

廃止による財産の損失を防ぐためには、以下の 3 つの方法があります。

(1) 銀行または郵便局で現金を交換する。

手持ちの旧紙幣を新紙幣と交換する方法ですが、身分証の偽造による不正交換を防ぐ為 1 人 1 回のみ 4500 ルピーまでと制限されました。その金額は 11 月 18 日には 2000 ルピーまでとされ、12 月半ばには現金での交換が一切不可能となります。

(2) 旧紙幣を銀行口座に預金する。

銀行窓口、または ATM で旧紙幣を自分の口座に入金する事で現金の価値を維持する方法です。預金額が 25 万ルピー以上(約 40 万円)になると税金をちゃんと納めているか調査の対象になります。

(3) 銀行口座から引き出す。

銀行窓口、または ATM で口座にあるお金を新紙幣で引き下ろす方法です。各銀行により制限がありますが、10000 ルピー/週ほどで、徐々に増えていくようです。

モディ首相の発表後、11 月 9 日は混乱を避けるため政府の指示でインド国内の全銀行が休業し、翌 10 日から銀行・ATM が開かれましたが、連日多くの人々が押し寄せ長蛇の列ができ、全国で常にパニック状態が現在も続いています。

また、新紙幣が十分に用意されていない為、半日で銀行が閉鎖する日々が続き暴動も各地で起きています。



↑ナレンドラ・モディ首相と銀行の長蛇の列。

この混乱の主な原因はやはり現行紙幣が廃止となったタイミング、発表から4時間後であったという事にあり、一番の被害を被るのは貧困層(割合で約30%、1日\$1.25未満で生活する人々)とされています。

インドでは、**決済に占めるクレジットカードの割合はわずか2%、現金決済が圧倒的で、預金比率も約5割と「タンス預金」の比率が非常に高いです。**高額紙幣は銀行に預金すれば価値は保護されるので、約12億人もいる国民のタンス預金の多くは銀行の口座に半強制的に集められます。また、現金による交換も金額が制限された為、脱税・汚職などのブラックマネー対策に大きな効力を発揮し、国民の所得を明確化させることが出来ます。

しかし、貧困層の多くの人々は銀行口座を保有しておらず(預金するほどの財産を持っていない為)、現金交換しかありませんがそれにも金額の制限があるので、4500ルピー以上のお金は文字通り紙切れとなってしまったのです。

その為、銀行前で暴動が起き一般人が死亡、得た現金が無効になってしまった女性が自殺、病院では旧紙幣が使用できないために治療費を払えず、容態が悪化しその場で亡くなってしまおう等、多くの人命に関わる事態にまで発展しています。

今回の旧紙幣廃止が原因で少なくとも 100 人以上の人が死亡したとされているようです。

しかし、この高額紙幣の廃止は将来的には大きな効果が期待されます。

今回廃止が決まった紙幣の流通量は 230 億枚にも上り、インド国内で流通する紙幣の 86% を占めるとされていますが、報道によると 1000 ルピー札は 400 枚に 1 枚が偽札だと報じられています。 この偽札を撤廃することで、テロリストの財源を無くし、現在全国民の 3% しか納めていないと言われている所得税の大幅な増収が期待されています。また、必然的に銀行への預金額もかなり増加するので、銀行も積極的に融資を勧めるようになるというメリットもあります。

しかし、これに関しても本当に税金を納めるべきである脱税・汚職に手を染める高所得者たちは、政府や各政党に融通が利くので実際には何とでも方法はあるようです。

各方面に影響を出しているこの問題ですが、今回訪問して実際に私も困った事がいくつかありました。外国人なので深刻な問題ではありませんが、面白い事もありましたのでご紹介します。

(1) 空港での現金両替

出張の際、インドの空港にある銀行で日本円をルピーに両替しているのですが、今回入国しその銀行の窓口に行ってみると、いつもは2~3人の外国人しか並んでいないのですが、20人ほどインド人の列ができていました。外貨両替なので金額に制限は無かったようで、手数料は高いもののこちらで替える人も少なくないようでした。(夜中の1時半到着しこれで1時間以上並びました…笑)



↑普段にはないインド人の行列…。

→旧札使用不可の張り紙。各地で見られました。



(2) タクシーの支払い

両替した後、ホテルまでタクシーで向かうので出口付近で声をかけてくるドライバーと値段交渉し、500 ルピーで乗せてもらう事になりました。しかし、先ほど両替してもらった新札は 2000 ルピー札のみ。1000 ルピー札と 500 ルピー札はまだ発行されていないので、おつりが心配になった私は尋ねてみると、「旧札しか持ってないよ～。100 ルピー札も 15 枚も持って無いよ～」と問の抜けた返事が返ってきました。どうしたものかと考え、以前両替していた旧札を受け取ってくれと強めに言ったところ、「旧札は交換するの面倒だからなあ…。あ、600 ルピーくれるなら旧札でもいいよ！」と値上げされてしまいました。いつもならケチをつけているのですが、あまりにも眠かったので 600 ルピー払いました。。 (笑)

(3) ホテルの支払い

ホテルでも同じような事が起こりました。工場付近で快適な安宿を探すため、いつもと違うホテルに泊まったのですが、このホテルでは海外のクレジットカードに対応していませんでした。仕方なく現金で払おうとしたところ、なぜかホテルにもかかわらず、おつりが無いとの事。。更には私かわからないと思ったのか、旧札を渡してこようとするではありませんか。これに腹が立ったので、逆に旧札を受け取らせ無理矢理支払いを済ませました。笑

と、このように外国人の私でさえ大なり小なり問題が起きました。インド国民は相当な困難を強いられていることでしょう。。。

弊社協力工場は、生産や納期に心配はないと言っていました。あちこち銀行を回るのも忙しくしている様子でした。また、これによる良い影響もあるかもしれません。工場も丁場も旧札は使用できなくなり口座に入金しないといけないので、当面の費用などに充てる手元の現金が少ない状態に陥っています。その為、長期休暇明けで動きの鈍かった丁場もお金欲しさに生産を早めてくれるかもしれません。薄い望みかもしれませんが…笑

今回の旧紙幣の廃止で一定の効果は得られるかもしれませんが、多くの死者が出たりと悪い影響があまりに大きすぎるように思います。このモディ首相の決断は相当の“荒療治”だと言えます。2014年に圧倒的な支持を得て選ばれたモディ政権ですが。。今後も注目していきたいと思います！

今月はインド大混乱スペシャルでお送りしました。また来月お会いしましょう！

2016/12/01 オカザキ